

## 日本体力医学会学会賞の受賞論文

### 学会賞（体力科学）：

#### 男子大学生ラグビー選手の外傷・障害特性

大垣 亮<sup>1</sup>, 小倉 彩音<sup>2</sup>, 金 賢宰<sup>3</sup>, 村上 大記<sup>4</sup>, 嶋崎 達也<sup>4</sup>, 竹村 雅裕<sup>4</sup>

<sup>1</sup>帝京平成大学人文社会学部, <sup>2</sup>船橋整形外科市川クリニック,  
<sup>3</sup>筑波大学大学院人間総合科学学術院, <sup>4</sup>筑波大学体育系

### 学会賞（JPFSSM）：

#### Associations of sedentary time, physical activity, and cardiorespiratory fitness with metabolic syndrome in Japanese industrial workers: The Toyota Motor Corporation Physical Activity and Fitness Study

Kaori Yagi<sup>1,2</sup>, Tao Chen<sup>3</sup>, Sanmei Chen<sup>4</sup>, Masataka Suwa<sup>5,6</sup>, Takayuki Imoto<sup>6</sup>, Akira Kida<sup>6</sup>, Takashi Nagami<sup>6</sup>, Mitsunori Iwase<sup>7</sup>, Takashi Yokochi<sup>6,8</sup> and Shuzo Kumagai<sup>9,10</sup>

<sup>1</sup>Kumagai Institute of Health Policy, <sup>2</sup>Wellness Support Laboratory,  
<sup>3</sup>Sports and Health Research Center, Department of Physical Education, Tongji University,  
<sup>4</sup>Global Health Nursing, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University,  
<sup>5</sup>Department of Food and Nutrition, Koriyama Women's University, <sup>6</sup>Toyota Motor Corporation,  
<sup>7</sup>Toyota Memorial Hospital, <sup>8</sup>Midtown Clinic Meieki, <sup>9</sup>Kyushu University,  
<sup>10</sup>Institute of Convergence Bio-Health, Dong-A University

### 奨励賞：

#### 一過性の自転車こぎ運動と下肢への電気刺激の併用が動脈ステイフネスに及ぼす影響

西村 里奈<sup>1</sup>, 三浦 哉<sup>2</sup>, 羅 成圭<sup>3</sup>, 田村 靖明<sup>4</sup>, 中村 みづき<sup>5</sup>, 久我 浩正<sup>6</sup>, 出口 純次<sup>7</sup>

<sup>1</sup>徳島大学大学院総合科学教育部, <sup>2</sup>徳島大学大学院社会産業理工学研究部, <sup>3</sup>徳島大学教養教育院,  
<sup>4</sup>徳島県鳴門病院リハビリテーション部, <sup>5</sup>大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科, <sup>6</sup>株式会社ニシ・スポーツ,  
<sup>7</sup>勝浦学園徳島医療福祉専門学校理学療法学科

## 第37回日本体力医学会学会賞選考を振り返って

学会賞選考委員長 宮地 元彦

学会賞および奨励賞を受賞されました会員の皆様、誠におめでとうございます。さて、本学会は毎年、「体力科学」および「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSSM)」に公表された論文の中から、学会賞と奨励賞を選定しております。今回は、昨年に「体力科学」と「JPFSSM」に公表された論文からそれぞれ高い評価を受けた論文一編ずつが学会賞、若手学会員が筆頭著者の論文の中から高い評価を得た一編が奨励賞として選定され、2024年9月に佐賀大学で行われた日本体力医学会第78回大会で受賞者の表彰と講演が行われました。

本学会賞は体力科学72巻1号から6号に掲載された18本、JPFSSM第12巻1号から6号に掲載された14本の論文の中から選考されました。まず両誌に投稿して下さいました全ての著者の皆様に深く御礼を申し上げます。また、本学会ならびに両誌の特性上、研究の内容、手法、対象も多様でしたが、科学的知見の独創性、研究手法の妥当性、社会への応用・発展性などを考慮し、複数の委員による評価と討議を行いました。客観的かつ公平中立の立場で選考に臨んで頂いた選考委員の方々にも御礼申し上げます。

日本体力医学会は、国内外における体力ならびにスポーツ医科学の研究の進歩、発展を促進させる使命を担っています。これを実現する上で、学会機関誌である「体力科学」と「JPFSSM」は重要な役割を果たしています。今後も学会員の皆様の貴重な研究成果を「体力科学」あるいは「JPFSSM」に積極的にご投稿いただき、国内外の体力ならびにスポーツ医科学の研究の推進・発展にご貢献頂けると幸いです。また、学会員の皆様にとって、本学会賞・奨励賞が憧れとなり、ますます価値の高いものとなるよう、選考委員一同これまで以上に努力して参ります。

## 「日本女子体育大学附属基礎体力研究所 第35回公開研究フォーラム」開催のお知らせ

- テーマ：「人体の柔軟性を探る」
- 日時：2024年11月30日(土) 13:00～16:10
- 場所：日本女子体育大学 学園創立百周年記念館  
二階堂トクヨ記念講堂  
東京都世田谷区北烏山8-19-1

### ●プログラム

- ・Session1 基調講演  
「柔軟性を考える～生体軟組織の力学的特性と関節の可動性の観点から～」  
川上 泰雄 氏 (早稲田大学)
- ・Session2 基礎体力研究所成果報告
- ・Session3 「深筋膜の構造と機能  
～関節の可動性への影響を考える～」  
大塚 俊 氏 (愛知医科大学)  
「柔軟性の役割とその評価」  
加藤 えみか 氏 (京都産業大学)

- 参加費：無 料

### ●参加方法：

右記QRコードよりお申込みください  
<https://forms.gle/pJpYBdkANaTWweYGA>



### ●お問い合わせ：

日本女子体育大学附属基礎体力研究所  
〒157-8565 東京都世田谷区北烏山8-19-1  
E-mail：kisotai@gjwcpe.ac.jp  
URL：https://www.jwcpe.ac.jp/research/

## 編 集 後 記

体力科学第73巻5号をお届けます。今号は、原著論文が2編、英文誌Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM) 掲載論文の抄録、地方会抄録が掲載されています。

さて先日、5年ぶりに対面での3日間の学会大会（第78回大会）が佐賀大学で開催されました。久しぶりに開催された学会大会でしたが、開催直前に迷走した台風10号の影響で、国内長距離移動の要である東海道・山陽新幹線が計画運休、航空機も運休と東京以西の交通機関がマヒしてしまい、学会員の皆様が会場まで無事に来ただけなのかやきもきされました。いざ、開会してみると、どの会場も満員で、立ち見が出るほどの盛況で安堵しました。また、会場内外では活発な意見交換が行われていた様子を目にし、学会大会を対面で開催する意義を再認識しました。そして、この第78回大会への参加をきっかけに、新たな研究のヒントを得られたという方や現場での問題解決の糸口を見出されたという方もたくさんいらっしゃるのではないかと考えています。そして、本学会の魅力をあらためて感じていただけたのではないかと思います。

参考となる前回や前々回大会がない状況での大会準備を強いられた第78回大会事務局の皆様方には大変なご苦勞があったと思います。3日間にわたる学会大会が無事に成功裏に終えられたのは、大会事務局の皆様方の

ご尽力の賜物です。今大会に参加させていただいた学会員として、この場を借りてあらためて御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。また、大変お疲れ様でした。

一方で、この第78回大会で発表された研究発表の中には、まだ論文として発表に至っていない研究もあったのではないかと考えています。今大会の2日目に、学術委員会と編集委員会の共催で、「論文サポートセミナー 論文投稿のいろは～あなたの研究を体力科学誌・JPFISM誌に掲載してみませんか?～」と題して本学会誌の紹介と論文投稿へのポイントを概説させていただきました。セミナーの中でも提示させていただきましたが、体力科学もJPFISMも採択率は他誌に比べて高い水準が維持されています。論文を投稿される際は、是非とも日本語論文は本誌体力科学に、英語論文はJPFISMへの投稿をお願いしたいと切に願います。

来年の第79回大会は、9月17日から9月19日までの3日間、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催予定となっています。1年後に学会員の皆様に再会し、そして多くの新たな研究成果に出会えることを楽しみにしています。

後藤勝正

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.73, No.5

#### 体 力 科 学 第 7 3 巻 第 5 号

令和6年9月25日 印刷  
令和6年10月1日 発行

編集兼発行者  
発行所

編集事務局

印刷所

後藤勝正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社